



「じゃがいものうち」通信 NO.64 2010.3.23

～ 障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npjaga@po.minc.ne.jp

URL:http://www.minc.ne.jp/npjaga 代表 松田 正



じゃがいも収穫（休憩時間のひとこま）

自立について考える

まず、自立って言葉を聞いて、どんな状態を想像しますか？

一般にイメージされるように、経済的に独り立ちして社会的責任を果たしていくことも、一つの姿だと思います。でもちょっと見方を変えて、自立を三つの面から考えることも出来るのではないのでしょうか。つまり、経済面（自分で生活費を稼ぐ）と生活面（日常の家事をこなす）、そして精神面（検討し、選び決定する）それぞれの自立があると思うのです。

このように分けて考えると、自立出来ているように見える多くの人でも、この三つが全部自立出来ている人って、意外と少ないように思いませんか？ 経済的に自立出来ていても、生活面がまるっきりダメとか、生活面はばっちりだけど、経済的なことはどうも...とか。

障がい者の場合を考えると、生活面での自立に差し障りがあるからこそその障がいであり、この経済効率重視の世の中では、経済面での自立も難しい面があります。しかし、精神面での自立ということで考えると、十分可能だと思うのです。

自立とは、自分の生き方を自分で選んで、良くも悪くもその結果を自分で引き受けることだと思っています。これは障がいのある人にもない人にも共通することです。

障がいは自己の責任ではなく、もちろん家族の責任でもありません。いろんな人が共に暮らすために必要な支援をしていくのが社会の責任です。それが社会保障だと思いますが、今はどんどん削られてひどい状態にあります。そのしわ寄せはどこへ行くのか？ 家族に頼るしかなかったり、支援事業所の経費節減やサービスの低下などに行かざるを得なくなります。そうなると多くの場合、障がい者は家族に負担をかけていると感じるようになり、サービスの低下もただ我慢するしかなくなってしまうのです。

今までの社会保障が、福祉やリハビリの観点（庇護し、訓練する）を重視してきたことの結果のように思われます。障害者権利条約の中心テーマである人権（基本的人権や個人の尊厳の重視）の観点が、希薄だったからだと感じます。現状では扶養者や社会等に対する依存感や、自身では何も出来ないという無力感を感じながら生活するようになり、自立への意欲をそがれてきたこと、そこが一番の問題だと思っています。

自分のことは自分で決めて、生きる力を身につけていく、そんな自立の支援をしたいと思っています。

障害者自立支援法に変わる新法には、今まで以上の社会福祉の充実はもちろん、一番注目しておきたい視点です。

（松田正）

みんなのおうちコーナー

利用者さんからの声

2010年。パソコンの方はインターネットの環境が整い、友達とメールとかやっています。ところで、1月23日から24日にかけて、親が鹿児島へ出かけることになりました。そこで、大ニュース!!!があります。いつもだったら病院へ行くところですが、今回は試行的にみんなのおうちを借りて、長瀬さんに手伝ってもらいお泊まりしました。

たいしたことじゃないと、普通の人だったら思うでしょう？でも、自分にとってはすごいことでした。僕は、家か病院か施設しか泊まったことがないので、新鮮でした。感想から言えば、楽しかったです。そこで2月21日と28日、2回の宿泊予定も決まりました。

僕の弟たちは外に出て行き、今は親と三人暮らし。普通だったら僕も外に出て行き、親孝行したいところですが、脳性マヒという病気を持っているゆえ、そういうことが今までは出来ませんでした。けどこれからは、こういう形で続けていけたらいいなと思っています。やっと、自分だけのことを考える時間が出来ています。

今まで、自分なりに周りの人のことを考えて、気をつけていました(今でも同じですが)。それをしないことは考えられませんでした。自分だけのことを考えると気楽でいいですね。そういうことが段々わかってきました。これからもよろしくお願いします。(楯水生輪)

スタッフからの声

"失敗は成功の基"という言葉が好きになりました。

一緒に働く仲間のおかげでお菓子作りやパン作りにはまり始めました。当然うまくいくはずのケーキがふくらまなかったり、パンにあながあいたり……。味はいいのですが……。

「なんで～!」「もういや!や～めた!!」といらいらしてほうり投げるはずの私が「あれ～?どうしてだろう?なぜだろう?」と落ち着いて考えるようになっていました。そうやって1つ1つ原因を探していき、「今度はうまくいくかな～」と少しワクワクしながら何度もTRYしています。「失敗した方がおもしろい!!」最初からうまくいったらこの楽しさは味わえないんだな～と思いました。だから今年は沢山の失敗をするだろう私を楽しみつつ、みまもり、歩いていこうと思っています。

とある土曜日の夜、水生輪さんのナイトデイを引き受けました。「ぼくのイビキひどいらしいよ、それに寝言も言うよ、おまけに呼吸も止まるよ……!」という言葉に少々たじろぎつつ何十年ぶりの修学旅行の夜を思い出してしまいました。おしゃべりしつつ、夜はふけていきました。

無事にすぎっていったサタデーナイト。朝日がキレイでしたね。楽しかったですでしょうか?(長瀬富美子)



お出かけ

2月24日春の陽気に誘われて原の山河(やまんこ)公園に出かけました。

こんなに間近で見られる満開の桜に皆さん大感激! 淡い香りに誘われてか、おびたしいほどのミズバチも、帰りには川のクレソンも少し戴いて帰りました(これは内緒かな?)。





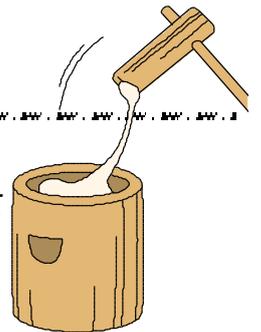
お出かけ

3月17日久々の快晴に誘われて急遽『シャクナゲ見に行きましょうか！』 ということはすぐに決まります。昨年は少し時期が過ぎてしまいましたが今年は最高！ 体調悪くお休みだったユキ子さんもお誘いして、友達の笹川さんも一緒に、西洋シャクナゲと小楊子川の景観を堪能しました。

行事報告

餅つき会 12月26日(土) 「みんなのおうち」

みんなのおうちの行事となって二回目の餅つき会でしたが、地域の人も参加してくれて楽しい会となりました。今年は昨年を上回る15kg6臼をつきました。さすがに伝統行事だけあって、人が変わっても、蒸す人、搗く人、手水をとる人丸める人と手際よくリズムに乗って、お昼頃には無事完了。昼食にお餅とごった煮汁など美味しく頂きました。お年寄りや子供たちを交え、賑やかで楽しい会となりました。次回をお楽しみに！！



新春茶話会 1月4日(月) 「じゃがいものおうち」

今年も、皆さん持ち寄りの豪華で美味しい手料理を堪能しながら、近況やら各種話題に話しが弾みました。また、新年度から会員となって頂く三浦さんのハーモニカ演奏により、みんなで合唱したりして、和気藹々とした楽しい茶話会となりました。

しゃくなげ未来館との交流会

1月13日午前10時より未来館において、未来館の利用者、家族、ボランティアとの交流会がありました。

当日は殊の外寒く、体育館で行われた風船バレーやゲームも、初めのうちは意気があがりませんでしたが、防寒着を脱ぎ始めた頃から紅白戦が接戦となり、お互いにひと声ひと声かけ合い、楽しい雰囲気の中で引き分けとなり、みんなの紅潮した笑顔が印象的でした。未来館に戻り、家族会の方々が作ってくれたカレーやおしるこ、漬け物などを「美味しい」を連発しながら頂きました。



自己紹介の中でも、またこんな機会を持ちたいという意見も聞かれ、皆さん満足気でした。じゃがいものおうちからは9名が参加し、楽しい交流会となりました。 (四宮英代)

豚味噌作り

1月20日 ぼんたん館にて「じゃがいものおうち」新製品「豚味噌」の第2回目の仕込みが終わりました。屋久島産黒豚をなんと味噌と同量使い、生姜・とうがらし・白胡麻・鰹節で調味したこの「豚味噌」。特に黒豚肉の固まりから出る肉汁が何ともいえず、「旨さバツグン！」としか表現しようがない！是非ご賞味下さい。

コマーシャルはこれぐらいにして、豚味噌作りメンバーは製造を重ねる度に腕を上げています。障害者4名を含め10～11名で作業をしています。今回は肉のスライサーをゲットしました。なんとスピーディー、なんと正確な厚み、やっぱり機械はすばらしい。

これから観光シーズンに向け販売促進に力を入れます。(楯篤雄)



タンカンジュース作り 2月21日(日)～24日(水) 3月5日(金)～7日(日)

延べ人数168名(この中には安房小6年生と先生の49名を含む)の参加を頂き、ビン3531本、一斗缶95缶のジュースが出来ました。



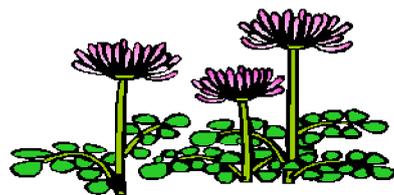
じゃがいも収穫 3月1日(月)

(箱詰出荷3月13日)

54名の参加を頂き、約1トン収穫出来ました。

今年のじゃがいもは病気もなく、りっぱなものが出来ました。

10kg詰め75箱を鹿児島有機生産者組合へ出荷しました。



おおぼらかい

1月26日(火)茶話会(15名参加)

新年の初顔合わせとなった今回は年末年始をどのように過ごしたのか?何故屋久島に来たのか?等々、話しが盛り上がり、大変楽しい会となりました。

2月16日(火)健康教室【脳に良いと云われる食事について】(13名参加)

今回は町の保健センターから保健師さん&栄養士さんに来て頂きました。健康講話と脳に良いと云われる食事(もちもちポテト大福、キャベツと豚肉の重ね蒸し)づくりをしました。みんなで試食しましたが大変美味しく、脳にも即効果?があったような気がしました。家庭でもレシピを参考に是非作って見てください。(レシピをご希望の方は、事務局までご連絡ください)

行事予定

ウコン、ガジュツ収穫、植え付け 3月下旬～4月上旬 「新里自動車下の畑」

おおぼらかい 3月23日(火)午後1時30分～ (毎月第4火曜日「みんなのおうち」)

総会 5月16日(日)午後1時～3時 「役場尾之間支所4F町民ラウンジ」

安房小との交流会



2月23日にタンカンジュース作りを麦生のぼんたん館で行いました。普段は広く感じる加工室も、この日は生徒47名、先生2名、総勢49名の参加があり、たいへん賑やかな一日を過ごすことが出来ました。「じゃがいものうち」からは5名の障害者が参加し、作業を共にすることが出来とても有意義な時間となりました。そして一週間後の3月1日には尾之間耕地整理の畑でじゃがいもの収穫作業をしました。植え付けの時と同様に町のマイクロバス2台で来てくれました。午後からは雨の予報だけに、なんとか午前中に終わりたいところ、頼もしい生徒達のおかげであっという間に終わりました。わずか7畝(アール)のじゃがいも畑ですが、一人で立ち向かえばとんでもない広さです。つくづく一人一人の手のありがたさ、どんな小さな手でもたくさん集まれば大きな力になることを目の当たりにしました。

大切なのは「人を思いやる」心であり、それが「福祉」だと前号の通信で書きました。人は自分のことだけでも精一杯です。それなのに他人のことまでもとても思いやれないのが現実です。でもちょっとだけ、わずかでも人のことを思いやるゆとりを持ちたいものです。そのほんのちょっとだけがたくさん集まれば大きな力となり、今まで諦めていたことが可能になりそうです。

毎年安房小の6年生と交流させていただき、労働力の提供だけでなく、繊細な年代の生徒さん達と「福祉」という分野で関わらせて頂いている事に深く感謝いたします。

タンカンジュース作りも、じゃがいも作業の時も、休憩時にじゃがいも専属エンタテイナーの高見澤君と鹿島君が一芸を披露してくれます。この一芸は何の打ち合わせもなく自然に流れの赴くまま、進んでゆきます。彼等なりにみんなを笑わそうと考えての事です。テレビ等に出てくるプロの芸人さんのようにはいきませんが、彼等の持つ独自の世界がその場を和ませてくれます。微笑ましく危なっかしいあの姿は「じゃがいものうち」の財産です。安房小との交流にはなくてはならない存在です。「じゃがいものうち」は、障害者がこの島で幸せに暮らせることを願っています。ふれあう時間とすればわずかな時間でしたが、この交流を通して皆さんの将来に役立ってくれば幸いです。

「安房小のみなさん!! ありがとう!!」(楯篤雄)



手をつなぐ育成会便り

昨年の暮れより各障害者団体の代表者が集まり、グループホーム等の設立に向けて協議を重ねてきました。まずお互いの置かれている状況を行政や関係機関と共有するのが先決と、年明けの平成22年1月12日に勉強会を開催しました。

参加者は各障害者団体の会員の方、行政関係者や一般の方合わせて25名の参加でした。

各団体の要望として

精神障害者家族会の方からは
病状が悪化したときの受け入れ先、家族の高齢化による家となるグループホームの確保。

身体障害者福祉協会からは
早期リハビリ態勢の充実。

手をつなぐ育成会の方からは
グループホーム、重度の方の日中活動の場の確保。

療育親の会からは
養護学校や特別支援教育の充実。

などが上がりました。

行政からは

屋久島町の障害福祉のこれまでの実績、自立支援法の説明、町内の各障害者手帳交付者数の紹介がありました。

身体障害者手帳1級～6級 869名

療育手帳A1～B2 113名

精神保健福祉手帳1級～3級 37名

(平成22年1月1日現在)

今回は勉強会というところまでは届きませんでしたが、屋久島の障害者の置かれている立場を、まずはお互いに解り合うところから始まる第一歩であったと思います。

これからは各団体の緊急な要求を優先し作業部会的に取り組み、常に全体で協議して進めていきたいと話しているところです。

それぞれの持つ要求を実現するためには、人口の少ない屋久島の現状を考え、それに合う法律や制度を活用した事業の立ち上げが必要です。その為に利用者数の把握、建物、移動手段等々、様々な課題があり、そのための勉強会をこれから計画いたします。

これからは各障害者団体が一つになり行政と共に屋久島の障害福祉の向上に取り組む事になります。名称も正式に「屋久島町障害者福祉連合会」と決まりました。

どんな障害を持っていても安心して暮らせるようになるために、皆で努力していきますので、皆様のご理解とご協力をよろしく御願いたします。

(楯篤雄)



子持ちギヤルのひとこま見聞録

「自立」の巻

我が家の入り口には、無機質な電柱がにゅっと立っている。どうにも見苦しいので、私の大好きなデュンタライムの木を植えることにした。掘ってみると大きな石があり、深く根を張るのには障害となってしまう。案の定、その木は大きくなるにつれ、一人で立っていることが難しくなり、度々倒れてしまう。そこで私は電柱にその木をくくりつけてしまうことにした。それから十年。電柱の見苦しさをすっかり覆い隠してくれる



ほど木はすくすくと育ってくれた。ライム色の鮮やかな葉の色、夏には可愛い紫色の花を咲かせ、その花はオレンジ色の実に変化し、一年中楽しませてくれる。しかし、相変わらず台風が吹く度にくくりつけている紐は切れ、その木はぱったり倒れてしまう。もう何度起こし上げ、電柱にくくりつけ直したのだろうか。それでもいい。起こし上げ、くくりつけ直す人がいてくれれば、まだまだ元気に育ってくれる。

人も同じだと思う。「自立」を意識するあまり、また「自立」を意識させるあまり、花を咲かせることができずにいることはないだろうか、...

(鈴木裕子)

喫茶コーナー



屋久島の少し寒い冬も終わり、春を告げる鳥の声もそこかしこに聞こえております。皆様から頂いたリサイクル品も、冬物から春物へと入れ替えしていますので気軽にお立ち寄り下さい。また、ランを育てられ、綺麗に花が咲いた頃、喫茶へ届けて下さる太田様、いつも綺麗なお花をありがとうございます。

喫茶の中がパッと明るく華やかになります。私もランの花に負けじと.....?

木曜日一緒に担当している鹿島浩二さんと共に、皆様に愛される喫茶を目指して頑張っております。これからもよろしく願いいたします。(畑下和子)

2月から水曜日と土曜日を担当させて頂くことになりました。夫と2才の息子と共に平内海中温泉の近くに住んでいます。屋久島で自然を身近に感じ、のんびり暮らす毎日を心地よく楽しんでいます。喫茶での仕事はまだ慣れなくて緊張しますが、昔の屋久島のお話や趣味のお話しなど、お客様とのおしゃべりはとても楽しく勉強になります。じゃがいものうちの喫茶で過ごすひと時をくつろいで頂けるように頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

(吉村加代子)

新年度の会費とボランティア保険代の納入についてのお願い

日増しに春の訪れが感じられるこの頃ですが、皆さん如何お過ごしですか。日頃から、当会の運営にご協力を頂き感謝しております。皆様の会費が貴重な財源になり、お陰様でいろいろな活動を展開する事が出来ました。今年度のご支援を感謝し、引き続きご協力をお願い申し上げます。

つきましては、新年度の会費を、ボランティア保険の手続きの関係上、3月末日までに同封の口座振込用紙(払込取扱票)にてお振り込みいただくか、直接「じゃがいものうち」へご持参下さいますよう重ねてお願い申し上げます。

年会費

一般会員	一口	3,000円
(家族で二人目以降)	一口	1,000円)
(ボランティア保険)	一口	280円)
賛助会員	一口	2,000円
賛助団体会員	一口	5,000円
(ボランティア保険料が変更になりました)		
賛助会員の方もボランティア保険に加入出来ます。		

新会員のご紹介(賛助会員)

日高新治さん(尾之間)
みなさん、よろしく~

感謝録 (12月18日~3月20日 敬称略)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものうち、みんなのうちに)

日高ユキ子 飯田かおる 大門聖子 鈴木裕子 藤山順子 笹川芳子 遊佐さえ子 井上正勝
岡村和子 日高ヨリ 四宮英代 山田由紀子 安藤多鶴子 村本栄子 嶋崎ゆり 日高仁
嘉屋重修之 峰島富士子 後藤田由利美 松本活栄 戸床頭 長瀬富美子 太田美代子
曲尾光枝 畑下和子 井上紀代子 岩川トク 谷本正和 平瀬恵子 須見洋子 古屋浩三
古居一男 若松真由美 星野京 日高チズ 共同募金会(社会福祉協議会) 川上雄治 鎌田智秀
古里祐二 日高一昌 池上純久 笹川寛樹 泉清治 日高時安 木原裕子 小川靖則 田端信明
岩川チヨ

美味しさバツグン！黒豚タップリ！

黒豚味噌

1瓶(150g) 600円 (会員価格500円)

第一弾、第二弾の豚味噌は好評完売！
3月中に第三弾の製造・販売を予定しています。



濃厚な果汁がたっぷり

タンカンジュース

1本(500ml) 850円 (会員価格600円)

お好みに応じ、倍以上に薄めてお飲みください



売れてます！

春ウコン・秋ウコン・ガジュツ

1パック(100g) 600円



地方発送致します。(送料、振り込み手数料別)

愛着者さんからの便り

寒暖の差のはげしい天気には振り廻されている昨今、今期も新しい「黒豚味噌」と「タンカンジュース」が皆様の愛の輪に依り、おいしい製品に出来上がっています。

私の家では息子は黒豚味噌が好物で見る間に食してしま^{しま}います。味も辛みも適度に仕上がりに、あたたか^{あたたか}いご飯の上のせて食べるのが最高です。ピリットした味もあり、とても良質に出来上がっています。タンカンジュースもこれからのシーズンに合うあっさりした味でこくのある飲み物です。好みに合わせうすめて冷たくして飲むとすつとのどを通ります。屋久島の自然の中で育った物は最高です。皆さん我が身を惜しまず協力して仕上げられた二つの品、是非食して頂きたく思います。

編集後記

家作りは大工だけでは建ちません。左官屋さん、電気屋さん、設備屋さん、塗装屋さん、建具屋さん、クロス屋さん、屋根屋さん、等々。それぞれの職種の人達が力を合わせてこそ、いい家が建ちます。それぞれの職人さん個人の力と、全体がまとまる和の力の両方が整うことが大切だと思います。

自立についても同様に個人の自立と社会全体の自立があると思います。自立した福祉の島を目指して、
“今日も槌^{つち}を振る”。 (大工でもある 楯篤雄)